

## ある日の精読会の記録 ——2000年5月6日（土）

テキスト：汪曾祺《护秋》（原载《收获》1996年第4期）

報告者：徳間佳信

参加者：天野、小川、釜屋、工藤、塩旗、徳間、布施、李      記録：天野

当日分の原文（下線は話題になった箇所。但し一部割愛した）

谁知道杨素花不“待见”她男人。

朱兴福背着一枝老七九枪，和我并肩坐在大堤上抽烟，瞎聊。他说话本来不清楚，在加上柴沟堡口音，听起来很费劲。柴沟堡这地方的语言很奇怪，保留一些古音。如“我”读“捱”，他（她）读“渠”跟广东客家话一样。为什么长城以北的山区会保留客家语言呢？

我问他他媳妇为什么不待见他，他说“晓得为了个毬！”我问他：“你为什么总是没精神？你要是干净利索些，她就会心疼你一点。”他忽然显得有了点精神，说他原来挺精神的！他部队上下来（他当过几年兵），有钱——有复员费。穿的很整齐。他上门相亲的那天，穿了崭新的蓝叽叽、解放鞋。新理了发。丈人丈母看了，都挺喜欢，说这个女婿“有人才”。杨素花也挺满意。娶过来两年，后来“晓得为了个毬！”

他把烟掐灭了，说：

“老汪，你看着点。捱回去闹渠一槌。”

“闹渠一槌”就是操她一回。

我说：“你去吧！”

他进了家，杨素花不叫他闹（这一带女人都是脱光了的），大声骂他：“日你娘！，日你娘！”我在老远就听见了。过了一会，听不见声音了。

“闹了？”

“闹了。”

夜很安静。快出伏了，天气很凉快。风吹着玉米叶子刷刷地响。一只鸱鸱悠（鸱鸱悠即猫头鹰）在远处叫，好像一个人在笑。天很蓝，月亮很大。我问朱兴福：“今天十五了？”

“十四。”

相亲

「これは、お互いに見合うという日本式の見合いではない。相手の親とか相手が婿の品

定めをするという意味だ」(徳間)

#### 藍味叽

「“味叽” カーキ (khaki—ヒンディー語) 色の音訳だが、軍服とか制服の代名詞に用いられるので、“藍味叽” は、青い上下の制服ないし軍服」(徳間)

#### “待见 (戴见)”

「辞書によれば『可愛がる。好感を持つ』等の意味だが、わざわざ“ ”がついているのは何故か」(小川)「5行おいて下に“我问他他媳妇为什么不待见他，…”と、“ ”を付けずに書かれているから、特殊な言葉とは思えないが」(徳間)「かなり婉曲な表現で、彼女はダンナを嫌っているということの間接的に述べたのではなかろうか。あるいは逆にどぎつい表現なのか。『好感を持つ』という訳はあまりよく解らない」(小川)「やはり、なぜ“ ”なのか解らない。“待见 (戴见)” は男女の間だけに使われる言葉なのか」(徳間)「そうではないようだ。辞書には“小孩不懂礼貌，没人待见 (子どもは礼儀知らずではかわいげがない)” “我很不待见他，见了他就讨厌 (私は彼には全く好感が持てない、顔を見ただけで嫌な気分になる)” “脸子丑，没人待见 (顔が醜いと、誰も愛してくれない)” “你要多嘴多舌的，准会找人不待见 (あなたがお喋りだと、きっと人から目をかけられないことになる)” というのがある。必ず否定形の文脈で使われるようだ。肯定形で“她很待见他”のように使うことはあるのか」(小川)「ある。“不待见” は、農村の男女間で相手が好きでない時、よく使われる」(李)「この小説の舞台になった農村でもよく使われるのか」(徳間)「そうだ」(李)「“不喜欢”とどう違うか」(小川)「それは学生等のように読書人が使う言葉だ。“不待见” は全く田舎の言葉」(李)「ローカル色を出すために“ ”を付けているのではないか」(徳間)「ここでは、夫婦の間での“待见 (戴见)” という意味だから付けたということではないか」(小川)

「農村では愛情上の用語自体があるのだろうか。“喜欢”、“爱”、“再见” も使わないのでは」(釜屋)「“看上”等は使うが、男女で関係があったとしても、愛情表現の言葉はあまり使わない」(李)「中国で、あるカップルともう一人若い女の子の前で『“爱上”なのですか』と言ったら、言われた方がびっくりして、あきれたように『“愛”って言ったぞ』と繰り返していた」(工藤)「“我爱你”なんていう言葉も西洋の影響を受けたものだ」(釜屋)

#### 瞎聊

「『とりとめもなく雑談した』となっているが、この“瞎”には、普通あまり話さないこと、例えば性的なことも含めて、夜二人だけで喋っていると意味はないのか」(小川)

「特に目的もなく適当にということだろう。“瞎吃”と言えば『ありあわせの物で腹を満たす』こと」(塩旗)『めくら減法に食う』ということではないのか」(小川)「“瞎说: 没有根据地乱说”(現代漢語詞典)とある。『とりとめもなく』という日本語は、とりとめもないのだが、一種の枠がある。つまり安全ケースの中で話をしていることなのだが、“瞎”はその安全ケースを取り払うというニュアンスなのではないか」(釜屋)「ご飯の後の屈託ないお喋りでも、たぶんこの話題は、話されないのではないかと思ったものだから」(小川)

晓得为了个毬!

「なぜ“毬”が使われているのかが解らない」(徳間)「全体では“不知道为什么!”という意味ではないか」(塩旗)「それはそうだが、“毬”を使ってそういう意味になる過程がよく解らない」(徳間)「“什么”の位置には“毬”以外にも色々な物が入るだろう」(塩旗)「男性が喚く際に良く使う言葉で、“什么”にはたいてい男性の生殖器が入る。女性は絶対に使わない」(李)

杨素花不叫他闹

「“不叫他闹”だから、朱興福はさせてもらっていないのだ」(釜屋)「いやいや、楊素花は最初は抵抗したが、静かになったということなのだから、そうではないのでは」(小川、徳間)「静かになったのだが、実は何もなかったというふうにとれないか」(釜屋)「それだとこの話は、まるでいいことない。“娶过来两年, 后来……”というのは、何らかの事情があって、夫婦関係がなかったということを暗示していると思うが」(小川)「だから、“老汪, 你看着点, 捱回去一槌”と言ったけれどできなかった。こういう解釈も成り立つ。この方が哀愁が漂っていてよい」(釜屋)「それはおかしいと思う。“日你娘! 日你娘!”と、男性しか使わないような言葉で最初は抵抗していたのが、静かになったのだから」(小川、徳間)「“闹了?”という問いに“闹了”と短く答えているところなど、どうもそうは思えない」(徳間)「“日你娘”は、老若男女誰でも使う言葉だ。最後に“我问朱兴福: ‘今天十五?’ ‘十四’”とある。この会話では、団円を暗示し、夫婦仲が睦まじいというのが“十五”であるはずなのに、朱興福は“十四”と答えているから、うまくいかなかったのではないか」(李)「そのところは、果たしたのだが、団円にはなっていないという暗示ととったのだ。“夜很静。……月亮很大”というのは非常にすがすがしい光景である。何か懸案事項を成し遂げすっきりしたことを匂わせるような」(小川)「いや、“猫头鹰在远处叫, 好像一个人在笑”などというのは、すがすがしくない。『お前達人間は何をやっているんだと、ニヤニヤ笑っている』といっているふうなのだから。汪曾祺は、どちらの可能性もあるように読ませるのだ」(釜屋)「決定的な方向付けをしない」(徳間)